

小学校 第6学年 社会科学習指導案

神奈川県横浜市立西富岡小学校
教諭 金井 伸一

単元名 武士の政治がはじまる (4時間)

**単元の
ねらい**

- 武士による政治が始まったことについて理解するとともに、絵画資料や文化財、地図帳や年表などの各種の基礎的資料を通して、情報を適切に調べまとめる技能を身につけるようにする。
- 武士による政治の特色、出来事や人物の関連や意味を多角的に考える力、その時代の社会に見られる課題を把握して、歴史を学ぶ意味を考える力、考えたことを説明したり、それらをもとに議論したりする力を養う。
- 武士が現れたことによる世の中の変化について、主体的に学習の問題を解決しようとする態度や、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養うとともに、多角的な思考や理解を通して、日本の歴史や伝統を大切に国を愛する心情を養う。

**本時の
ねらい**

鎌倉幕府の成立や、幕府と御家人の関係を調べ、幕府の政治の仕組みについて捉える。(第3時)

指導時期

6月下旬～7月上旬

指導者用デジタル教科書(教材)活用の意図・目的

歴史の用語は、歴史に慣れ親しんでいない児童にとって捉えづらく難しい。加えて、情報を理解する際の認知特性も、視覚優位、聴覚優位、言語優位、身体感覚優位など多様であることがわかっている。

そこで、より多くの児童に効果的にアプローチするために、「指導者用デジタル教科書(教材)」に搭載されている「鎌倉の様子」の動画を活用する。この動画を視聴させることで、教科書の文字を読むだけでは得られない映像・写真や説明などの情報を通して、視覚や聴覚などさまざまな感覚から鎌倉幕府のおおよその概観の理解を促すことができる。紙の教科書だけでは、歴史的な用語の多さから、その意味や当時の様子を理解することが困難な場合があるが、「指導者用デジタル教科書(教材)」を活用することで、その理解はよりスムーズになる。

本時では、「鎌倉の様子」と「鎌倉街道」の二つを資料の中心に位置づけ、それぞれから読み取った情報を結びつけることで、理解をより深めていきたいと考えた。学びを深めるためにも、導入で動画を視聴し、基本的な知識を全体で共有することが効果的である。

本時(第3時)の展開

	活動内容	デジタル教科書・教材の活用
導入	<ul style="list-style-type: none"> ● 「指導者用デジタル教科書(教材)」の初期画面を開いてコンテンツを起動する。 	

- 本時の問いを確認する。
- ※ 第 1 時に学習計画をつくっている。

源頼朝が開いた鎌倉幕府は、どのような政治を行ったのだろう。

- 「資料ア 鎌倉の様子（復元模型）」 から考えたことを話し合う。

- T**：源頼朝が幕府を開いた当時の鎌倉の様子です。この資料から何に気づきますか？
- ◎：中央に大きな道が通っている。
 - ◎：街に向かって複数の道がある。
 - ◎：街が海や山に囲まれている。

- 「資料ウ 鎌倉街道」 を拡大提示し、それをもとに考えたことを話し合う。

- ◎：他の地域からも鎌倉につながっている。鎌倉に行きやすくなっている。
- ◎：鎌倉を中心にしたかったのかな。
- ◎：どうしてここに幕府を開いたのかな。
- ◎：なぜこのようなつくりなのかな。

- 動画「鎌倉の様子」を視聴する。

- 「資料ア」 を拡大提示する。



児童が気づいたことを話し合う際は、デジタル画像を拡大しながら着目すべきポイントを明確にする。一方、黒板には紙の資料を拡大掲示しておくことで、そのときの気づきや話し合いの過程を学びの足跡として視覚的に定着させることができる。

- 「操作」 コンテンツを活用する。




「操作」コンテンツで「鎌倉街道」を表示することで、他の地域も鎌倉へつながっていること、そしてそれにより移動が容易であったことを捉えさせる。

- 動画を視聴する。



導入

	活動内容	デジタル教科書・教材の活用
展開	<ul style="list-style-type: none"> ●「動画」で視聴したことをもとに鎌倉幕府について話し合う。 T：「動画」を視聴して気づいたことはなんだろう？ ◎：鎌倉は、攻められにくい地形なんだ。 ◎：頼朝の先祖がいた鎌倉で武士の政治をはじめようとしたんだ。 T：これまでの政治は誰が中心だったかな？ ◎：藤原氏などの貴族が中心だった。 ◎：天皇中心の政治だった。 ◎：武士の政治ってどういうことなのかな。 ● p.114、115の本文から調べる。 T：本文からわかることはなんだろう？ ◎：武士が守護・地頭になって権力をもった。 ◎：頼朝が領地の支配を認めたり、領地を与えたりして、「ご恩と奉公」の関係ができた。 T：疑問に思ったことはあるかな？ ◎：平家を倒した幕府は、次に誰と戦う必要があったのかな。 ◎：どこが攻めてくるのかな。 ◎：教科書にある「征夷大將軍」という立場なら、攻めてくる者もいそうな気がする。 ◎：平氏の残党が攻めてくると考えていたのかな。 ●「資料オ ご恩と奉公をうったえた北条政子」をもとに話し合う。 ◎：当時は、朝廷や貴族、天皇も力があったから、そこと戦って、幕府側が勝ったんだね。 ◎：そうすると完全に武士が中心の世の中になっていくね。 	<p>「動画」を視聴して、頼朝が「武士の政治を始めた」ことに気づいた児童の発言を受けて、「これまでの政治は誰が中心だったか」という問い返しを行う。この問い返しから、児童に「貴族（または天皇）」が中心であったという既習事項を引き出させる。ここから、鎌倉幕府がこれまでの政治と何が違うのかという点について、自ら気づきを得られるように促す。</p> <p>※児童の実態に合わせて、動画の視聴を「武士の政治の中心となる幕府を開きました」という言葉の直後で終わらせることで、学習課題をより焦点化させる指導も有効である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 本文を拡大提示して、全体に共有しやすいようにする。 <div data-bbox="850 779 1481 1205" style="border: 1px solid gray; padding: 5px;"> <p>幕府を開いた源頼朝 平氏との戦いに勝った源頼朝には、多くの武士が御家人として従いました。頼朝は、有力な御家人を守護や地頭に任命して全国各地に置き、武士による政治の体制を整えていきました。1192年、頼朝は征夷大將軍に任命され、全国の武士を従える地位に つきました。鎌倉(神奈川県)を政治の中心として、頼朝が開いた政府を、鎌倉幕府といいます。こうして、武士が中心となって、政治を動かす時代が始まりました。</p> </div> <div data-bbox="850 1218 1481 1644" style="border: 1px solid gray; padding: 5px;"> <p>頼朝は、御家人がもつ領地の支配を認め、手がらをたてた者には新しい領地をあたえました。これを「ご恩」といいます。御家人たちは、戦いのときには家来を率いて「いざ鎌倉」とかけつけ、将軍のために戦いました。また、都や鎌倉を警護することも大切なつとめでした。御家人のこうしたつとめを「奉公」といいます。幕府と御家人は、土地を仲立ちとした「ご恩と奉公」の関係で結ばれていたのです。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ● 本文を拡大提示し、全体に共有しやすいようにする。 <div data-bbox="850 1749 1481 2024" style="border: 1px solid gray; padding: 5px;"> <p>● ご恩と奉公をうったえた北条政子</p> <p>西日本を中心に力をもっていた朝廷は、源氏の将軍がとだえたあと、幕府をたおそうとして兵を挙げました。このとき、頼朝の妻の北条政子は、御家人たちの前で、次のようにうったえました。</p> <p>「今はなき頼朝どのが平氏をほろぼして幕府を開いてから、あなたたちにあたえたご恩は、山よりも高く、海よりも深いものである。その恩にむくいようと願う者は、力を合わせて敵軍をうち、幕府を守りましょう。」</p> <p>政子は、動揺する御家人たちを団結させて朝廷の軍を破り、幕府の危機を救いました。</p>  <p>北条政子 政子は、尼将軍とよばれたと伝えられています。</p> </div> <p>※重要な部分や児童が気になった部分に赤線を引いて共有していくことで、児童の話し合いの根拠が視覚的にも捉えやすくなる。</p>

	活動内容	デジタル教科書・教材の活用
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ● 本時の問いをまとめる。 <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 10px; text-align: center;"> <p>源頼朝が開いた鎌倉幕府は、どのような政治を行ったのだろう。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> T：今回の問いについて解決はできたかな。 C：鎌倉幕府は、天皇や貴族ではない武士が主役の政治を行った。 C：だから西の京都じゃなくて、東の鎌倉に政治の中心を置いたのかもしれないな。 C：鎌倉幕府と武士がご恩と奉公の関係を結び、武士が中心の政治体制をつくって政治を行った。 <ul style="list-style-type: none"> ● ノートにふり返りを書く。 ※以下の三つの視点を明確にする。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 鎌倉幕府が目ざした政治と、それに対する自分の考察 ・ 友達の発言を通して新たに学べたこと ・ 本時の問いに対する自分なりの考えをもつことができたか（自己評価） 	

指導者用デジタル教科書（教材）を活用したことで得られた効果

【指導者側が得られる効果】

「指導者用デジタル教科書（教材）」の活用により、授業の組み立ての自由度が向上し、より効果的な授業構成の検討が可能となる。本事例においては、資料提示を、「ア→ウ→動画→オ」の順で行い、教科書の流れと児童の思考が1本のストーリーとなるように構成した。これは、児童の思考の流れが無理なく進むように意図した工夫である。しかし、「イ→ア→エ」の順や「エ」のみで授業を組み立てるなど、多様な構成が考えられる。いずれにせよ、「指導者用デジタル教科書（教材）」は、指導者側が創意工夫を行うための選択肢を広げるという点において、大きなメリットがある。

また、「指導者用デジタル教科書（教材）」には、指導内容に合致した動画や補助資料が搭載されており、教材研究が効率化される。さらに、デジタル資料の即時的な共有や拡大提示が可能となるため、児童の話し合いの際、意見の共有がしやすくなり、全体の理解度を高めやすくなる。

【学習者側が得られる効果】

紙の教科書と「指導者用デジタル教科書（教材）」を併用することで、動画や補助資料などにある、文字、図、音声、写真といった多様な情報を同時に利用でき、児童の理解がより容易になる。

また、複雑な情報を含む資料であっても、「指導者用デジタル教科書（教材）」の機能やコンテンツを活用して必要な情報だけを強調したり目立たせるようにしたりすることで、児童は資料がもつ意味や意図について深く考えやすくなる。さらに、教科書の画像をアップヤルーズ（全体像）に切り替えながら他者と共有することで、話し合いをより質の高いものにできる。

【指導上の留意点】

本事例の効果は、紙とデジタルの併用による相乗効果である。デジタルのみで授業を構成しようとする、画面が次々と切り替わるため、学習の流れが視覚的に把握できなくなり、児童の混乱を招く可能性がある。

また、今回の事例は話し合いを中心に構成したものである。調べることを中心にした授業の場合でも、指導構成や「指導者用デジタル教科書（教材）」の活用方法を工夫することで、効果的に個別最適な学習が展開できると考えられる。